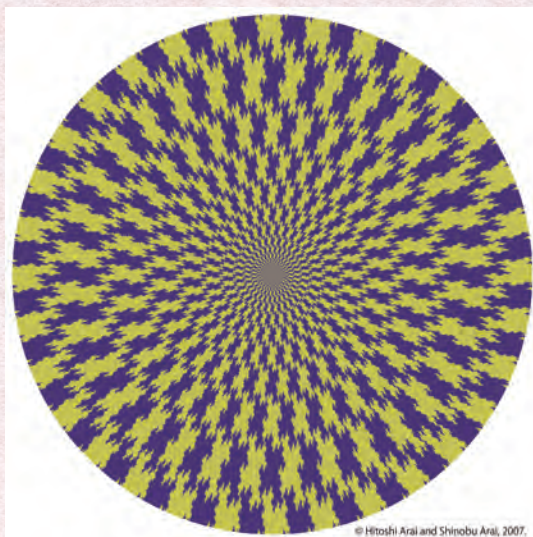


# 日本数学会 市民講演会

2018年 3月 17日(土)

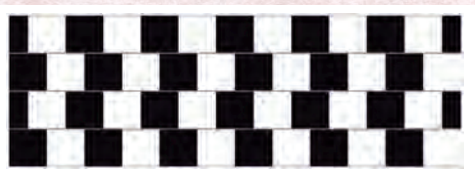


東京大学駒場キャンパス  
講堂(900番教室)  
[http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map02\\_01\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map02_01_j.html)



© Hitoshi Arai and Shinobu Arai, 2007.  
フラクタル螺旋錯視  
新井仁之・新井しのぶ 2007  
自己相似集合として知られるフラクタル島を縦長にして同心円状に並べると、渦巻いて見える

14:00 ~ 14:10 挨拶



カフェウォール錯視  
グレゴリー・ハード・ミュンスターベルク・ブルマントン  
灰色の細い横線は平行だが、傾いて見える

14:10 ~ 15:10 講演

1

人の視知覚に切り込む数学とその応用  
— 調和解析、錯視、画像処理、アート —

新井 仁之 東京大学大学院数理科学研究科教授

15:30 ~ 16:30 講演

2

サーストンの3次元多様体論

小島 定吉 東京工業大学情報理工学院教授



©Hitoshi Arai and Shinobu Arai, 2016.  
新しいタイプのエッジに起因するチェスの錯視  
新井仁之・新井しのぶ 2016  
図のエッジの部分と著作権表記以外はすべて輝度が同じだが、違って見える

主催: 日本数学会

共催: 東京大学大学院数理科学研究科

お問合せ: [tokyo18mar@mathsoc.jp](mailto:tokyo18mar@mathsoc.jp)

公式サイト: <http://mathsoc.jp/meeting/tokyo18mar/>